# 「第2回全国シンポジウム

日本の国情・2次医療圏の実情を熟考して

理想的医師・医療者育成教育の展開を考える 2013」の

学生セッションで発表しました。

平成 25 年 11 月 30 日(土)に秋田市の秋田キャッスルホテルで開催された、「第 2 回全国シンポジウム 日本の国情・2次医療圏の実情を熟考して 理想的医師・医療者育成教育の展開を考える 2013」の学生セッションで、当学医学部4年の山田明日実さんと鈴木里可子さんが、「豪雪中山間地における高齢者の生活環境と健康に関する聞き取り調査」と題して、当センターの「オール新潟による次世代医療人の養成」プログラムである医学科プライマリコースの取り組みのひとつ、ソーシャルキャピタル測定のためのアンケート調査の発表を行いました。

今回のアンケート調査の目的は、魚沼市の豪雪中山間地域で、65 歳以上の高齢者に対して聞き取り調査を行い、生活環境と健康の実態を調べることです。

アンケート調査は、新潟県でも有数の医師不足、過疎化、高齢化の進む地域の一つである魚沼地域の2か所、魚沼市中心地の小出に近い羽根川地区と、魚沼市の中でもかなり山奥に位置し、高齢化率が48.6%と新潟県の中でも非常に高い地区である福山新田地区で行われました。超高齢社会の抱える問題点、あるいはそれら超高齢社会にあっても高齢者が元気で暮らしていくための要素などについて調査しました。

発表では、2 人とも非常に落ち着いて話しており、非常にわかりやすいプレゼンテーションでした。



## 「第2回全国シンポジウム

日本の国情・2次医療圏の実情を熟考して

理想的医師・医療者育成教育の展開を考える 2013」に参加しました。

平成25年11月30日(土)に秋田市の秋田キャッスルホテルで開催された、「第2回全国シンポジウム 日本の国情・2次医療圏の実情を熟考して 理想的医師・医療者育成教育の展開を考える2013」に参加しました。

プレ・シンポジウムとして、参加大学の医学生が、地域医療実習の課題、離島実習等のテーマで発表を行いました。とても内容の濃い発表ばかりで、プレゼンテーションも素晴らしく、とても盛り上がりました。

シンポジウムでは、来賓挨拶の後に基調講演として、文部科学省高等教育局医学教育課企画官の平子哲夫氏から「医学教育の現状と課題」と題して、日本医師会副会長の今村聡先生が「日本の医療と医学教育 -日本医師会のこれからの展望-」と題して、お話しをいただきました。

その後、シンポジウム1では、「世界の視点から、真に日本の国情、2次医療圏の実情にあった医師・医療者・多職種連携教育を提言する」として、6名の先生方から、それぞれの取り組みについて発表され、ディスカッションがありました。シンポジウム2では、「すべての医師・医療者が基本となる総合力をつけるための医師・医療者・行政・多職種連携教育 -世界最高齢社会を先導する日本におけるこれからの展開-」として、3人の先生から、それぞれの取り組みについてお話しいただきました。本学からは、新潟大学大学院医歯学総合研究科総合地域医療学講座特任教授の井口清太郎先生が、「地域医療教育・多職種連携教育ネクストステージ -次世代医療人の育成-」と題して発表いたしました。

最後に、特別講演として、岐阜大学医学教育開発研究センター教授の鈴木康之先生から、「医療者教育の人材育成戦略 -日本の覚悟と挑戦:MEDC12 年の経験から-」と題して、東京女子医科大学理事長の吉岡俊正先生より、「医療教育における国際的な教育質保証の動向」と題してお話しをいただきました。

長丁場でしたが、とても熱のこもった会でした。こういった会で私たちの取り組みも発表することができ、非常に有意義でした。





# Program

9:00~9:45 〈プレシンポジウム〉

学生ポスターセッション演題発表 一学生視点から医学教育改革を推進する-

## 10:00~ シンポジウム 【主催者挨拶・来賓のご挨拶】

#### 【基調講演1】

座長:秋田大学医学部長 澤田 賢一

『医学教育の現状と課題』 文部科学省高等教育局医学教育課長 村田 善則

## 【基調講演2】

座長:秋田大学医学部附属病院長 伊藤 宏

『日本の医療と医学教育 ─日本医師会のこれからの展望─ 日本医師会副会長 今村 聡

#### 11:10~ 【シンポジウム】 一前半】

世界の視点から、真に日本の国情、2次医療圏の実情にあった 医師・医療者・多職種連携教育を提言する

聖路加国際病院アレルギー膠原病科医長、前米国内科学会(ACP)日本支部理事(元ニューヨーク大学リウマチ膠原病内科)

岸本 暢将

#### オープニング『医療アクセス世界一の日本が医学教育を先導する時代へ向けて

- 'What is the Best Plan for the Future of Medical Education in Japan?' — 秋田大学大学院医学系研究科医学教育学講座教授 長谷川 仁志

1 「総合小児科医の作り方 ~米国レジデンシー教育から日本が応用できるもの~ |

岐阜大学医学教育開発研究センター (元ハワイ大学小児科レジデンシープログラム小児科レジデント)

2 『米国の医学教育から何を学ぶか ―シミュレーション教育からみた医療者教育― 』

ハワイ大学医学部 Sim Tiki シミュレーションセンター (おきなわクリニカルシミュレーションセンター)

3 「医療者教育は医療の現場で昇華する ~Adult Learningを実践するための多職種チーム指導

昭和大学薬学部病院薬剤学講座准教授 (元シアトルVAメディカルセンター インターン薬剤師、ファーメリカ ケント支所 クリニカルアセスメント薬剤師)

12:30~12:50 (ランチョンセミナー)

座長: 厚牛連平麻総合病院診療部長兼循環器科長、卒後臨床研修プログラム責任者 伏見 悦子

『初年次ゼミにおけるキャリア形成・男女共同参画入門の試み

~医学生としてのミッションを意識し、充実した学生生活をおくるために~ |

秋田大学医学部総合地域医療推進学講座 蓮沼 直子

#### 13:00~ 【シンポジウム1-後半】

世界の視点から、真に日本の国情、2次医療圏の実情にあった 医師・医療者・多職種連携教育を提言する

#### 4 『米国の医学教育を日本の国情に応用するエッセンス ―医学生~初期・後期研修医~生涯教育まで―

聖隷浜松病院緩和医療科医長(元ベスイスラエルメディカルセンター内科レジデント、 MDアンダーソンがんセンター緩和ケアフェロー、バーモンド大学医学部血液・腫瘍内科フェロー)

#### 5 『シミュレーション基盤型看護教育のこれから

―日本におけるシミュレータを用いた看護教育と展開ポイント―』

青森県立保健大学大学院健康科学研究科成人·高齢者看護学分野教授 (オーストラリア・カトリック大学、ハワイ大学他研修)

#### 6 『都市で育て、地域を支える什組み作り ―米国の経験からみた日本の理想的医師・医療者育成教育―

医療法人渓仁会手稲家庭医療クリニック院長、日本医師会将来ビジョン委員 (元ピッツバーグ大学メディカルセンター家庭医療科Faculty Developmentフェロー)

小嶋 一

#### 14:45~ 【シンポジウム2】

すべての医師・医療者が基本となる総合力をつけるための医師・医療者・行政・多職種連携教育 ―世界最高齢社会を先導する日本におけるこれからの展開―

徳島大学大学院ヘルスパイオサイエンス研究部総合診療医学分野教授 谷 憲治 日本医師会将来ビジョン委員会委員長、石川県医師会理事 佐原 博之

#### 1 『医師会と行政一体化した多職種連携教育の展開』

宍倉病院副院長、日本医師会将来ビジョン委員、千葉県医師会理事 宍倉 朋胤

2『地域医療教育・多職種連携教育ネクストステージ ―次世代医療人の育成―』

新潟大学大学院医歯学総合研究科総合地域医療学講座教授 井口 清太郎

3『地域医療の現場における大学の教育機能の展開』

筑波大学医学医療系地域医療教育学教授、日本プライマリケア連合学会副理事長

### 16:20~ 【特別講演】 これからの医療者育成教育の展開

座長: 京都大学大学院医学研究科医学教育推進センター教授 小西 靖彦 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学分野教授 前田 降浩

1 『医療者教育の人材育成戦略 —日本の覚悟と挑戦:MEDC 12年の経験から—』

岐阜大学医学教育開発研究センター教授 鈴木 康之

2 『医療教育における国際的な教育質保証の動向』

東京女子医科大学理事長

吉岡 俊正

18:10~ 【情報交換会】